

2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月5日  
東

上場会社名 JIG-SAW株式会社 上場取引所  
 コード番号 3914 URL <https://www.jig-saw.com/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 真考  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 博道 (TEL) 03-6262-5160  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	2,020	26.2	322	56.1	320	△7.4	211	△10.0
2020年12月期第3四半期	1,600	22.0	206	△18.0	346	△15.3	234	△15.8

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 234百万円(585.1%) 2020年12月期第3四半期 34百万円(△79.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	32.00	31.42
2020年12月期第3四半期	35.73	34.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	2,455	1,824	74.2
2020年12月期	2,175	1,583	72.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 1,821百万円 2020年12月期 1,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年12月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、国内だけにとどまらないグローバルなIoT事業の大きな成長とそのため事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	6,751,000株	2020年12月期	6,751,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	134,696株	2020年12月期	156,625株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	6,604,793株	2020年12月期3Q	6,568,264株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、世界的パンデミックを契機としたデジタル化の進展によって「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）の一体化」が加速し、新たな価値の創出につながるSociety 5.0実現へと向かっています（出典：総務省「令和3年版 情報通信白書」）。

このような環境のなかで当社グループは、保有する基盤コア技術を応用したビジネスデザイン、すなわち、クラウドマネージ、IoT、IIoT分野に加え「生物・細胞」がインターネットとつながるIoE（Everything）、そして人間の能力を拡張させるIoA（Abilities）分野におけるビジネスデザインを、国内だけではなくグローバルにおいても着実に進めております。

当社のクラウド・IoT分野を包括するデータコントロール事業の売上は、安定した完全ストック型ビジネス（サブスクリプションモデル及びリカーリングモデル）の継続課金売上と一時的なスポット売上で構成されております。当第3四半期連結累計期間においても、引き続き月額課金案件の受注獲得を推し進め、前年同期と比較して月額課金売上は393,422千円純増しました。これにより、上場以来27四半期連続で過去最高の月額課金売上のプラス成長となり、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けることなく極めて堅調に推移しております。なお、新たなコントロールセンター開設による国内外トリプル拠点の体制強化など、現在も先行投資を継続して実施していますが、当第3四半期連結累計期間における営業利益の前年同期増減率は+56.1%と大幅増加になりました。

IoT分野では、IoTエンジン「NEQTO」をベースに、あらゆる事業者のエンタープライズレベルのIoTソリューションに大きく寄与するスピーディーかつシンプルなソフトウェアサービスを展開しています。「NEQTO」は多くの業界にまたがる幅広いIoTのユースケースにおいて、その適用力と拡張性が高く評価されており、量産ハードウェア向け超極小IoT組み込みソフトウェアの「NEQTO-m」の提供も開始しております。また、大型の新コントロールセンター（SCC N44）開設により、今後飛躍的に増加していくIoTデータコントロール・クラウドマネージドサービスへの要望に応える体制を構築しました。引き続き今後の高い事業成長を実現すべく、将来に向けた投資である研究開発費・販売促進費・人件費・グローバル展開のための先行投資を前年同期と比較し約250,000千円大幅に増加させております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,020,565千円（前年同期比26.2%増）、営業利益322,076千円（前年同期比56.1%増）、経常利益320,291千円（前年同期比7.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益211,322千円（前年同期比10.0%減）となりました。

なお、当社グループはデータコントロール事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、1,606,538千円（前連結会計年度末比188,618千円増）となりました。これは主に、売掛金が増加（前連結会計年度末比75,577千円増）、現金及び預金が増加（前連結会計年度末比57,017千円増）したことによるものであります。

また、固定資産は、849,169千円（前連結会計年度末比91,158千円増）となりました。これは主に、有形固定資産が増加（前連結会計年度末比44,777千円増）、繰延税金資産が増加（前連結会計年度末比28,770千円増）、投資有価証券が増加（前連結会計年度末比18,077千円増）したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、2,455,707千円となり、前連結会計年度末に比べ279,777千円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、499,623千円（前連結会計年度末比81,642千円増）となりました。これは主に、買掛金が増加（前連結会計年度末比38,643千円増）、未払法人税等が増加（前連結会計年度末比33,327千円増）したことによるものであります。

また、固定負債は、131,180千円（前連結会計年度末比43,693千円減）となりました。これは主に、長期借入金が増加（前連結会計年度末比45,000千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における負債は、630,804千円となり、前連結会計年度末に比べ37,949千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、1,824,903千円(前連結会計年度末比241,828千円増)となりました。これは主に、利益剰余金が増加(前連結会計年度末比118,989千円増)、自己株式が減少(前連結会計年度末比97,036千円減)したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、国内だけにとどまらないグローバルなIoT事業の大きな成長とそのためのも事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	890,290	947,308
売掛金	425,967	501,544
その他	101,704	157,735
貸倒引当金	△41	△50
流動資産合計	1,417,920	1,606,538
固定資産		
有形固定資産	258,439	303,217
無形固定資産	41,081	43,467
投資その他の資産		
投資有価証券	96,663	114,741
敷金及び保証金	235,790	239,808
繰延税金資産	83,653	112,424
その他	42,921	36,839
貸倒引当金	△540	△1,328
投資その他の資産合計	458,489	502,484
固定資産合計	758,010	849,169
資産合計	2,175,930	2,455,707
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	130,985	169,628
1年内返済予定の長期借入金	68,018	60,000
未払法人税等	39,437	72,765
その他	179,540	197,230
流動負債合計	417,981	499,623
固定負債		
長期借入金	165,000	120,000
その他	9,874	11,180
固定負債合計	174,874	131,180
負債合計	592,855	630,804
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	351,107	351,107
資本剰余金	310,580	310,580
利益剰余金	1,630,995	1,749,985
自己株式	△696,232	△599,195
株主資本合計	1,596,451	1,812,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,311	2,162
為替換算調整勘定	△10,067	7,156
その他の包括利益累計額合計	△13,379	9,319
新株予約権	2	3,106
純資産合計	1,583,075	1,824,903
負債純資産合計	2,175,930	2,455,707

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	1,600,549	2,020,565
売上原価	466,372	637,784
売上総利益	1,134,176	1,382,781
販売費及び一般管理費	927,866	1,060,705
営業利益	206,310	322,076
営業外収益		
受取利息	30	14
受取手数料	—	1,979
為替差益	1,146	—
投資有価証券売却益	134,238	—
助成金収入	4,569	3,176
その他	436	126
営業外収益合計	140,422	5,296
営業外費用		
支払利息	371	266
為替差損	—	5,893
その他	292	921
営業外費用合計	664	7,081
経常利益	346,068	320,291
特別損失		
解約手数料	11,456	8,038
特別損失合計	11,456	8,038
税金等調整前四半期純利益	334,611	312,252
法人税、住民税及び事業税	89,049	129,088
法人税等調整額	10,848	△28,158
法人税等合計	99,898	100,930
四半期純利益	234,712	211,322
親会社株主に帰属する四半期純利益	234,712	211,322

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	234,712	211,322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△189,710	5,474
為替換算調整勘定	△10,845	17,224
その他の包括利益合計	△200,555	22,698
四半期包括利益	34,157	234,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,157	234,020
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

ストック・オプションの行使による自己株式の処分により、利益剰余金が92,332千円及び自己株式が97,832千円減少しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が1,749,985千円、自己株式が599,195千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、データコントロール事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。